



これからのまちづくりを考える



少子高齢化による人口減少や、核家族化などによる地域コミュニティの希薄化が全国的に課題となっています。

このことは本市も例外ではなく、地域によっては高齢化がますます進み、これまでの区・自治会単位での運営が難しくなるといったことが、今後心配されます。

「人口減少」は誰もが関わってくる大きな課題のひとつです。

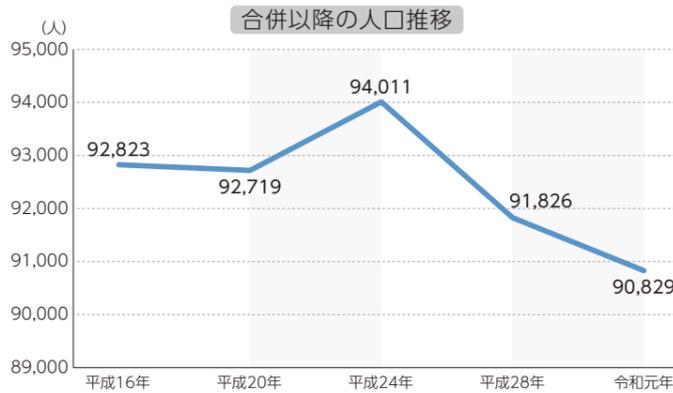


みんなが感心もち、これからのまちづくりについて考えていきましょう。



合併から15年 現在の人口

左の図は平成16年の合併時と15年が経過した現在の人口の推移です。晩婚化や未婚率の向上による子どもの人数の減少や高齢化率が高まる今後はさらに人口が減少していくことは大きな課題です。人口減少や高齢化が進むと、私たちの暮らしにもさまざまな影響が出てくるのが予想されます。



人口減少・高齢化による課題

- ・生産力、消費の衰退による経済活力の低下
- ・社会福祉費用の増大
- ・労働者人口の減少
- ・担い手不足による耕作放棄地の増加や森林の荒廃化
- ・地域コミュニティの希薄化、弱体化
- ・空き家の増加
- ・高齢単身世帯者の見守り問題 など

区・自治会活動の現状と課題

「68.2%」これは、令和2年1月1日現在の市内での区・自治会への加入率です。地域によって違いはありますが、この数値を皆さんはどのように感じられるでしょうか。

近年、区や自治会への加入率が低下傾向にあり、市や区・自治会からの情報が届けられないといった問題が出てきています。

また、高齢化がより一層進むことで、区長や自治会長をはじめ、民生委員・児童委員、健康推進員などの選出や組織運営に苦慮されているといった課題もあります。

併せて区や自治会活動は世帯1票制を取っているため、若者や女性の関わりが少ないといったことや、任期が短いため、継続的な課題解決への取り組みが進まないといった現状もあります。

『自治振興会』の目的

このような課題に対応するため、平成23年に小規模多機能自

治の取り組みである「自治振興会」が設立されました。

現在は、市内に25の自治振興会があり、それぞれ地域課題に向けた、さまざまな活動が行われています。

この「自治振興会」の目的は、人口減少や高齢化がますます進む中、高齢者福祉や子育て、防災・防犯など、これまでの施策や仕組みでは対応しきれないため「地域の実情に応じ、地域で考え、地域で課題解決に向けた取り組みを行う。」ことです。

「地域マネージャー」の配置

自治振興会は、平成23年の設立から9年が経過しました。現在市内には23の地域市民センターがあり、それぞれの自治振興会を支援するため地域マネージャーを配置しています。その役割は、地域の巡回や、地域にお住まいの方々の意見交換などを通じて、地域の現状と課題を整理、分析し、解決に向けた支援をすることです。また、新たな取り組みとして昨年度には「地域カルテ」を作成しました。



▲地域マネージャーによる地域巡回

地域の課題を把握・整理・分析「地域カルテ」

- 地域カルテの5つのテーマ
- 1 人口、世帯
 - 2 暮らし、住宅
 - 3 子育て、市民活動
 - 4 防災、福祉
 - 5 地域資源

※これらに将来的な人口や空き家数等を加え、課題の整理、分析をしていきます。

「地域カルテ」は、右図の5つのテーマごとに地域の現状を集計し、グラフや地図に反映したものです。作成したカルテから見えてくる課題は、市街地では、今後数年间は人口を維持できるものの、高齢化率の上昇に伴い、要介護・要支援者数の増加や、少子化による児童数の減少が見込まれることです。

一方、中山間地域では、イノシシやシカなどによる農作物への被害や、商業施設や病院などの公共施設が少ないなど、市街地とは違った課題も出てきます。地域カルテは将来の人口や空き家数、外国人人口の推移、また区・自治会の加入率など、適宜更新を行いつつ、長期的、多角的な視点で、地域に応じた課題解決に役立てていきます。